

映像事業 6月 KAVC CINEMA

「奇跡の小学校の物語 この学校はなくさない！」

児童減少、複式学級、統廃合。

いま年間500校の公立校が廃校に。子供のいない地域に、未来はない！

平素より、神戸アートビレッジセンター（KAVC）のご利用および企画運営にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

この度、当館にて、ドキュメンタリー映画「奇跡の小学校の物語 この学校はなくさない！」を上映する運びとなりました。

舞台は、栃木県宇都宮市、古賀志山の山裾にある城山西（しるやまにし）小学校。昭和30年代には180名ほどのにぎわいがあったものの、少子化の波に押され急激な児童減少に伴い、平成9年に複式学級に。ところが平成15年、突然、統廃合の方針が新聞で報道され、地元へ衝撃が走ります。このままでは3年後に統廃合が来ますという危機的な状況に陥ります。

そんな状況の中、赴任してきた校長が、次々と奇想天外の奇策を打ち、魅力ある学校づくりが始まります。小規模特認校として再スタートした後、「どんな事があっても、この小学校はなくさない」と学校、地域そして行政が一致団結して成し遂げていく。児童の減少に伴う統廃合の危機を見事に乗り越えた「奇跡の小学校の物語」を追ったドキュメンタリーです。「未来の学校の在り方」をぜひご覧ください。

つきましては、ぜひ貴社媒体にて本作品のご紹介をいただきたく、情報掲載のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

ストーリー

児童減少、複式学級、統廃合。いま年間500校の公立校が廃校に。子供のいない地域に、未来はない！

どうしたら児童を増やせるか？遠くからでも通いたくなる、魅力のある学校にするには、どうすれば？

地域の魅力を掘り起こす。移住者のための村づくり。高齢者が活躍する給食農園。本物に触れる文化人の授業。様々な奇策で学校を立て直す。地域住民と学校が一丸となって汗を流し、行政も動いた。今日本が抱える大きな課題が満載の話題作「奇跡の小学校の物語～この学校はなくさない！」この映画を同じ境遇にいるすべての人が待っている。

当館上映期間：

【1週間限定上映】2019年6月15日（土）～21日（金）

6月15日（土）本作監督 舞台挨拶決定！

料金：一般1700円、学生1400円、シニア1100円（かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり）



「奇跡の小学校の物語 この学校はなくさない」（2018年 / 日本 / 76分）

監督：安孫子亘 ナレーション：ダイヤモンド☆ユカイ 企画・製作：ミルインターナショナル

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 岡本・野澤
 〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。